

グ ラ ン ボ ア

GRAND BOIS

pour tous les cyclotouristes

すべてのシクロツーリストのために

旅の相棒自転車、 ランドナー

RANDONNEUSE
Mon Vélo Mon Ami

2023
Printemps



グランボアのランドナー

グランボアは自転車で旅を楽しむサイクリストのための自転車作りを行っています。

街を離れ、大いなる自然に没入し、ひなびた山里を逍遙し、古い街道筋の町を走り抜ける。そんな「旅」のための自転車です。

快適に旅を楽しむための自転車。険しい山道でも、雨に降り続けられても、一日中一生懸命走って「ああ気持ちよかった」と振り返ることができる、それがグランボアのランドナーです。私たちはそのために手作りでフレームから製作し、ツーリングに最適なタイヤ、リム、ドロヨケ、ハンドル、ブレーキなどなど、自転車を構成するほとんどのパーツを企画製造しています。

また、グランボアではオーダーメイドによる新車の製作だけでなく、50年以上も前に作られた自転車を当時の姿に戻す「レストア」という仕事も多く依頼されます。その時代の自転車はフレームだけでなく、部品までもがその性能や意匠を競い、ユニークなものがたくさんあります。作り手の意思や特徴が如実に表れ「物」でありながら今も力強い魅力を発しています。

現代のロードバイク・マウンテンバイクは、すべてがパーツメーカーによって企画構成され、素晴らしい性能を発揮するように作られた「コンポーネント」によって組み上げられています。しかし反面、それらはそのコンポーネントという縛られたパーツ構成の中でしか使用する事ができなくなってしまっています。かつての自転車部品はそれぞれが独立していて、たとえメーカーが異なっていたとしても、組み合わせて楽しむ事ができました。ところが今は、一つの部品が壊れた場合、同じもので補修するしかなく、そのパーツが型式遅れになっていれば、すべてを入れ替えなければならないようになってしまいました。

もう今や、使い捨てる時代ではありません。SDGs が叫ばれている現代において、趣味として自転車を楽しむ私たちも時代に即した行動をとらなければなりません。もちろん地球環境を大切にするために、既に自転車を選択される方はたくさんおられます。だからこそ、もう一歩踏み込んだ考えの元、私たちサイクリストは永く自転車を楽しむための新しいフォーマットを求める事が必要なのだと思います。

今こそ新しい価値観であなたの次の自転車を考えてみませんか？

このカタログがそのヒントになれば幸いです。



グランボアのメカニックたち



サイクルグランボア 代表取締役親方

土屋 郁夫 Ikuo TSUCHIYA

1987年、自身29歳の時、京都市内にアイズバイシクルを開店。フランス由来でありながら、日本で独自の進化を遂げてきた「ランドナー」を日本の大切な自転車文化と考え、美しく機能的な現代のランドナーに最適なパーツを地道に開発し、供給し続けています。かつての様々な名車から多くを学び、グランボアの自転車の企画設計にとどまらず、59歳でビルダーデヴュー、自身の手でフレーム製作まで手掛けることとなりました。

今年65歳を迎え、年2回、ロングツーリングに出かけることを楽しみに、新たな「親方フレーム」の製作と、70歳になってもサイクリストであり続けるために、ランドナーの為のアシストシステムの開発に動んでいます。



アイズバイシクル 店長

前野太志 Takayuki MAENO

2016年大学卒業後、サイクルグランボア入社。

2019年のフランスで開催された自転車製作技術のコンクールでライダーを務め、走行会であるPBPを69時間台で完走した実績を持つ。実際に走る経験を生かしたホイール組は、お客様の使用方法を念頭に、細かなところまで気を配って丁寧に仕上げます。新旧様々なホイールを組み上げる手組ホイールのスペシャリスト。店頭では、これまでの実走経験に基づき、初めての方にも分かりやすく、しっかり走るランドナーをご提案します。



サイクルグランボア アトリエ長

伊藤拓未 Takumi ITO

2016年大学卒業後、サイクルグランボア入社。

キャリアや小物製作だけでなく、今では親方の右腕として、セミオーダーフレームの製作を担っています。何台もの自転車の作業工程を把握し、同時進行のかじ取りも任せられ、日々奮闘中。フランスの老舗アレックスサンジェの日本オーナーズクラブ、ランドヴーアレックスサンジェ最年少会員。紙上の知識だけでなく、組立調整もできる、ヴィンテージ自転車界の数少ない若きホープ。

出水から天草へ

鹿児島県出水市の開拓地は、シベリアから飛来する鶴たちの越冬地となっています。多くは「ナベヅル」「真鶴」「クロヅル」などで、ピークは12月から1月。その数1万羽越えというからすごいですよね。そんな鶴に会いに今年の2月に輪行ツーリングしてきました。更に船を使い、熊本県天草を巡る3泊4日の旅です。



出水 - 長島

IZUMI - NAGASHIMA

京都から鹿児島県の出水まで、新幹線乗り継ぎ午前中に到着できます。3泊4日でも満足度の高いツーリングとなりました。

往路

特急「きのさき」 園部 - 京都
新幹線「ひかり」 京都 - 新大阪 7:38 発
新幹線「さくら」 新大阪 - 出水 11:52 着

復路

JR九州天草三角線 三角 - 熊本 13:31 発
新幹線「さくら」 熊本 - 新大阪
新幹線「ひかり」 新大阪 - 京都
特急「きのさき」 京都 - 園部 18:22 着

※グリーン車乗り放題JRフルムーンパス5日間を利用しましたが、この切符は2022年9月で廃止になりました。残念！



真鶴ファミリー。子供は顔中泥んこ。
食べ方がまた上手でないのはなの人も鳥も同じなのかな。



鶴の寝床になっている海辺の開拓地はこの時期は車の侵入は制限されているところもありますが、自転車は制限ありません。多くの鶴がこのエリアに集まっていますのでその迫力は想像以上。3月頃まで見られるそうですよ。



九州本土から長島までは橋で渡れます。印象的な段々畑はほとんどジャガイモ畑。海の向こうにこの日のお宿のオレンジ色の屋根が見えています。午後から走りはじめて、鶴の見物で時間を使いましたが、なんとか夕暮前に着けました。



全行程の走行距離は概ね200km。獲得標高は1000m弱。



長島 - 天草

NAGASHIMA - AMAKUSA

2日目は長島の蔵元港から天草牛深行のフェリーで天草下島へ。フェリーは1時間20分に1本です。咲き始めたばかりの梅の香りを楽しみながら、130年以上の歴史がある海辺の教会と丘上の教会を訪ねてきました。3日目はいくつも橋を渡し、下島から上島、そして前島まで移動。途中イルカウォッチングの予定でしたが、風が強く、残念ながら船が欠航してしまいました。代わりに最終日に地元の小さな水族館を訪ね、遊覧船で40分の内海を巡り。海陸両方から天草五橋を訪ねたのでした。

大江天主堂 Oe Church

丘上の教会です。ヨーロッパの教会と比べるとそれは質素なものです。清潔で、手入れされていて正しく清らかな印象でした。



崎津教会 Sakitsu Church

この教会は「海の天主堂」とも呼ばれ、禁教が解かれて約15年後の1888年、崎津諏訪神社の下に木造の崎津教会が完成したそうです。中は畳敷きになっています。



海上マリア像
Statue of Mary at the Cape

崎津教会の近くの岬に海を臨むマリア像があります。おしゃべりしながら走っていると見逃してしまうくらいひっそりと佇んでおられます。



天草パールガーデン & シードーナッツ
Amakusa pearl garden & sea dounuts

西日本で唯一の海に浮かぶ水族館。中を見るだけだったら1時間あれば十分な規模です。遊覧船は残念ながら2022年5月で廃止となっています。



風強し。予定していたイルカウォッチング船は欠航でしたが、きれいな海と対岸の山を見ながら走るのは楽しかった。

天草五橋 AMAKUSA FIVE BRIDGES

九州本土と天草諸島を結ぶ橋で、昭和41年完成。三角から大矢野島・永浦島・大池島・前島を経て天草上島まで5つの橋で結ばれています。

この写真は最終日に三角駅へ向かう途中、天門橋を渡る手前のピークで撮影したものです。とても美しい眺めですが、50年以上も前に造られた橋はどれも幅が狭く、自転車ではスリル満点。油断禁物です。



三角駅
JR MISUMI STATION

車窓から見えた御興来海岸も素敵でした。時間に余裕のある方はぜひ訪ねてみてください。

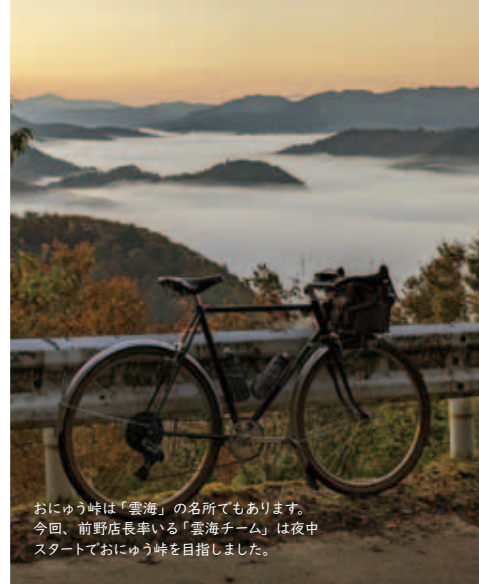
コンセントレーションおにゅう峠

久しぶりのアイズバイシクル主催のイベントはコンセントレーション方式。
12時から13時の間に指定した場所に集まってください、というとてもシンプルなイベントです。今回の集合場所は紅葉が盛りの「おにゅう峠」。
走るメンバーもコースも自由、12時くらいから峠には続々と30名を超える自転車乗りたちがそれぞれのルートを辿り集結しました。



滋賀県側展望ポイント

道から尾根を貫く道を見下ろせる絶景ポイントです。冬を前に紅葉した木々は、上から眺めるとまるで花畑のようですね。



おにゅう峠は「雲海」の名所でもあります。今回、前野店長率いる「雲海チーム」は夜中スタートでおにゅう峠を目指しました。



自転車旅の楽しみは
実際に旅することはもちろんですが、
プランニングも楽しいものです。
目的地が決まったら、
「そこまでどうやって行こうか、」
と妄想することから旅が始まります。

どの道を走ろうか、
宿はどうしよう、
何時の電車に乗ろうか、
どこで休憩しようか、
お天気はどうか、
暑いかな、寒いかな、
その地の名所名物は何か、
パンクしたらどうしよう、
怪我したらどうしよう、

何度も地図を眺めて、
心で旅を楽しんで、
自転車で運べるだけの荷物と共に
旅に出ましょう。

グランボアはプランニングも大好きです。
旅のご相談もどうぞ遠慮なく。

タンデム学会

当初の予定はお天気の都合で流れてしまい、延期した日程も直前まで雨予報。それでもなんとか雨にはならず、久しぶりのタンデム学会が開催できました。

今回の集合場所は淀川、木津川、桂川の三川合流地点「背割り堤」。三々五々集まった皆と「上津屋橋」まで木津川沿いのサイクリングロードを往復してきました。



EVENT de GRANDBOIS



タンデム5台、ソロのかたもたくさん参加してくださいました。



走り足りないという方向けにアイズバイシクルスタートプランもご用意しました。これだと往復で概ね60km。



こちらはフィリピンからの特別参加。
納車で来日されたタイミングが偶然にも合いました。
後ろの橋は京都嵐山の渡月橋です。



数台でもタンデムが並んで走ると迫力ありますね。



背割り堤の桜並木は落葉した後でも
風情満点。

上津屋橋 KOUZUYA WOODEN BRIDGE

通称「流れ橋」と呼ばれている日本最長級の木橋。全長356.5m、幅3.3m。川の水位が橋板に達すると橋脚を残し、橋板のみが流れる。水が引けば、ワイヤーロープにつながれた橋板を手繰り寄せ、再び橋脚に乗せる仕組み。今回のコースはアイズバイシクルスタートだと渡月橋とこの流れ橋の2つの木橋を巡れます。

今回のニューカマー。
Sさん夫婦とエルスのタンデムです。



ランドナーでブルベ

ランドナーはのんびりと走る自転車。
 スピードを求めない人が乗る自転車。
 それともヴィンテージ品でちょっと物にこだわる人が乗る自転車。
 ランドナーに対してそんなイメージを持っていませんか？
 前野店長がブルベにランドナーを使うのにはちゃんと理由があります。

乗り手に合わせて設計されたフルオーダーフレーム、
 路面の微振動を吸収してくれる太目で軽しなやかなタイヤ、
 夜間走行にも安心のハブダイナモ給電の明るい前後ライト、
 ロングライドでも手が痺れないハンドル、
 身体に馴染んだ革サドル、
 荷物に簡単にアクセスできるフロントバッグ、
 足元が濡れることを防ぐマッドガード。

ランドナーで標準装備のこれらの部品はクラシックな雰囲気を出す為の飾りではなく、
 長距離を快適に速く走るための道具なのです。

RIM / GRAND BOIS PAPILLON Vintage 650B/36H
 TIRE / GRAND BOIS HETRE EXTRA LEGER 650 × 42B
 FRONT BAG / GILLES BERTHOUD (BERTHOUD CYCLES)
 HANDLEBAR / GRANDBOIS FR410



前野店長の愛車は2017年フランスでのコンクール出走車の予備として製作した軽量フレームを使用したランドナーです。
 5年がたち、いくつか仕様が変わっていますが、こまめに手入れされ、愛用されている自転車は古びるどころか風格が増してきています。フランス製の帆布のバッグも良い風合いになってきました。
 使い続けてこそ、代えがたいものへとになっていく。そうやってランドナーは今も使い続けられているのかもしれないですね。

BREVET RANDONNEUR



SUPER RANDONNEUR

スーパーランドヌール 2022

同一年内（1月～12月）にBRMの200km, 300km, 400km, 600kmを完走したランドヌールはSuper Randonneur（SR）（シュペール・ランドヌール（仏）／スーパー・ランドナー）と呼ばれます。
 今年、前野店長が3年ぶりにSR認定を達成したので紹介します。

BRM618 近畿 米原 600km

コース：米原＞関＞飛騨小坂＞木曽＞諏訪湖＞阿智＞下呂金山＞米原

総距離：全長 609km

獲得標高：+7,590 m / -7,591 m

制限時間：40 時間



飛騨御嶽尚子ボルダールード
 高橋尚子さんが高地トレーニングをしていた事に由来して建立された石碑です。
 前には御嶽山、後ろには乗鞍岳が見渡せ、最高のビューポイントでした。

CHAINWHEEL / GRAND BOIS "CINQFEUILLE" 40T
 COMPONENTS / SRAM FORCE1
 SADDLE / IDEALE #90



滋賀県のJR米原駅前をスタートして信州を満喫するコース。
 当初は諏訪湖までの往路に野麦峠が含まれていたのですが、通行止めでスタート1週間前にコース変更。代わりに開田高原を経由して諏訪湖まで向かうことになりました。
 完走タイム 39 時間 17 分。

詳細なレポートは是非ブログでお楽しみください。
 左のQRコード【BLOG】から行けます。
 走ったコースは【ROUTE】でご確認いただけます。



4 kmも続く権兵衛トンネル。蛍舞う時間の伊那谷、諏訪湖近くのホテルで6時間の仮眠休憩。
 杖突峠。馬籠峠。ハードなブルベの最中でも「旅心」は忘れずに楽しみました。

BRM709 近畿 大津 200km

コース：大津市＞高島市朽木＞長浜市＞近江八幡市＞大津市

総距離：全長 201.3 km

獲得標高：+1,371 m / -1,360 m

制限時間：13.5 時間



コースは大津の近江大橋北側をスタートして琵琶湖大橋のある堅田から山へ向かい鯖街道を北上します。花折トンネル、朽木、檜峠を経てマキノで琵琶湖の湖岸へ。海津大崎、奥琵琶湖パークウェイ、旧賤ヶ岳トンネルなど奥琵琶湖を満喫し、湖東は湖岸道路をひたすら走って大津の近江大橋近くに帰ってきます。鯖街道以外はほぼビワイチの時計回り版。コースプロフィールから楽に完走できるだろうと思ってエントリーした今回のブルベ。ところが途中から滝のような雨の中走り続けるブルベとなり...

完走タイム 8 時間 16 分。



昼夜を問わず走り続ける長距離ブルベでは、天候が大きく変わることもしばしばです。ちゃんとしたドロヨケはとても大事です。

FENDER / HONJO H50

BRM924 近畿 600km 茨木

コース：茨木市＞南丹市＞若狭町＞福井市＞大野市＞桑名市＞津市＞茨木市

総距離：全長 607.6 km

獲得標高：+5,192 m / -5,192 m

制限時間：40 時間



ブルベ主催者のサブタイトルは「夢はでっかく琵琶湖一周」！？国道 157 号線の福井と岐阜の県境に位置する「温見峠」を夜間に越えることがこのブルベ最大の醍醐味です。特に岐阜県側は洗い越し区間が連続するほか、切り立った渓谷沿いに道を通しているのでハンドル操作を誤れば 100m 近い谷底に一直線...。酷い道、通称「酷道」として有名な峠です。深夜に超える酷道。睡魔との戦い。いくつかのトラブルをどのように乗り越えて完走できたのでしょうか。

完走タイム 35 時間 30 分。
前野店長の強靱さと合わせて変態度も際立つ内容です！

BREVET RANDONNEUR

BRM1015 近畿 300km 守山

コース：守山市＞日野町＞彦根市＞敦賀市＞小浜市＞高島市＞守山市

総距離：全長 302 km

獲得標高：+1,822 m / -1,825 m

制限時間：20 時間



滋賀県守山市発着のブルベで、前野店長にとっては土地勘のある場所が多く、300 km ブルベとしてはかなり優しい内容です。ところが、同行者の機材の破損、フォトコントロールの見逃し、油断、様々なアクシデントに見舞われます。早朝 5 時スタート。まだ暗い中でのブリーフィングから完走するまでを前野店長はどうやって走り抜けたのでしょうか。

完走タイム 13 時間 11 分。



FRONT LIGHT / SON EDELUX2
TAIL LIGHT / KIMURA TL-06D
LIGHT ON HELMET / LINDEN BK-02

停車中もしばらく光り続けるライトは夜間走行のあるブルベでは欠かせないアイテム。

ジャパンバイクテクニーク



このイベントは一般的な自転車レースとはことなり、自転車づくりの腕を競うものです。プロフェッショナルとして自転車製作販売に携わる者が、自分でエントリー車両を製作して参加します。自転車の製造販売に携わる者に切磋琢磨する場を提供し、自転車に関わる技術の発展を促進させることを目指しています。(JBT ホームページより)

GRANDBOIS Randonneuse + CYCLOMOTOR X1 STEALTH ランドナー + 後付けアシストユニット

グランボアの E-bike は MTB 用に開発された後付けユニットを、2019 年の JBT 用に製作したランドナーに装着して組み上げました。そして、ライダーはなんと、今年 64 歳となった親方だ。既定の 4kg の荷物 + 重量 1.2kg のバッテリーを 3 本用意。(総重量 7.6kg) 臨んだ走行会では、最初の笠岳峠(ヒルクライムポイント)を一位通過。途中、転倒したものの、その後の毛無峠へのグラベル区間を含む全コースをノントラブルで完走した。審査員の共感を得、「審査員特別賞」受賞。



アシストコントロールは手元のアプリで行う。もう、性能的にはツーリングに使えるくらいにはなっている。あとはデザイン性。もう、待ったなしの方々にはこのユニットでも良いと思うが、グランボア的には自転車の顔ともいえるチェーンリング周りをもう少し何とかしたいところだ。乗り続けられる喜びを何とか早く皆と共有したい。



- ① スタートは前回同様に夜明け前。スターしてしばらくすると小雨が降り出した。
- ② 笠岳峠。左はパナソニックサイクルテック。右はグランボア SUS フレーム。剛脚の若手 2 人を抑えてのトップ通過！アシストの力を見せつけたぞ！
- ③ 走行会後はすぐに輪行タイムトライアル。アシスト付きでももちろん輪行も可能だ。

バッテリー込み

15.5kg



前照灯は試作の LED 砲弾型ライト。後ろはリフレクターを改造し、内部に LED を仕込んである。前後のライトはハブダイナモから給電される。

ジャパンバイクテクニーク

GRANDBOIS Randonneuse SUS frame ステンレスランドナー

グランボア初となるステンレスフレームランドナー。
なぜ、今、ステンレスなのか。
ひとえに受注してしまったから、と言っては身も蓋もない。
しかし、良い機会なので試作車を作ってみた。
オールメッキの途轍もない手間に比べてその加工性と乗り心地を試してみたかった。
実際に作って、走らせてみるには JBT はもってこいのイベントなのだ。



- ① NC ミラン。ブレーキ台座などのフレーム小物もすべてステンレスで用意した。停止状態でも光り続けるハブダイナモ給電のテールライトは KIMURA TL-06D
② キャリアもステンレスパイプでアトリエ長の伊藤が製作。砲弾型ヘッドライトも ebike とはまた別の試作品。ヘッドバッチはステンレス用に色を抜いてみた。
③ グランボアではステンレス製のシートステーキャップも用意していたので、特徴的なシート周りも再現できた。銀ローでのフィレット仕上もパイプは錆びないが、溶接部分は経年で黒みを帯びてくる。

Maeno's impression

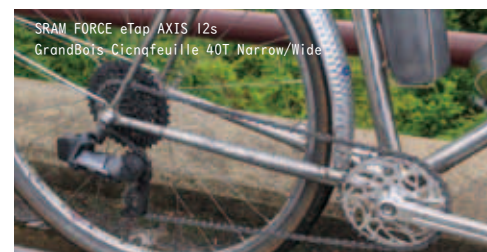
ステンレスランドナーは荷物を積載した状態で調子がよく、重さを感じせずにテンよく進んでくれた。フロントパニアに 4 kg の水を積んでいることを忘れる乗り心地で、林道湯沢線（グラベル区間 14.3 km）は時間調整しながら楽しく下れた。



毛無峠。
強風と小雨で気温は一桁。さすがに辛そう。

OYAKATA's impression

JBT ヒルクライムセクションをグランボア ebike に続いて 2 番目にクリアすることができたので、健脚ライダーにも十分にこたえられるフレームであると思います。それより気になったのはダートでの下りでチューブの硬さ故に振動吸収が十分にできるかどうかでした。特に今回の課題がペットボトル 8 本 (4kg) を左右のフロントサイドに積載しての走行でしたので、フロントフォークにかかるストレスは大変大きくなります。結果はライダーの感覚としても「堅いけれどもしっかり振動吸収してくれる」ということでした。このことは JBT 後に私が乗って確認しましたが、身体に帰って来るようなストレスになる振動は感じられず、ステンレス車の独特の乗り味であると判断できました。ただ、加工性の悪さはいかんともしがたく、フォークにアールを付ける苦勞を考えるとフォークはクロモリでも良いのではと考えます。



タイヤはグランボア 650 × 42B エートルをベースにした試作タイヤ。チューブはラテックスチューブの PLUME。エートルのような太くて軽いタイヤとラテックスチューブの組み合わせは乗り心地が良くスムーズで速い。この試作タイヤは 2023 年春の製品化が決定しました！

2019 年に引き続きバッグ類もハンドメイドの試作品だ。今回はパニアバッグも新たに製作した。



グランボア フルオーダー

GRANDBOIS Randonneuse VINTAGE "HURET +"

グランボア "HURET Jubilee" プリュ

ノルマンディー・ヘリコマチック6速ハブ、ジュビリースーパーツーリング。

憧れのヴィンテージに少しだけ"今"をプラス。

パターンレスから削り出したすっきりしたラグワークに

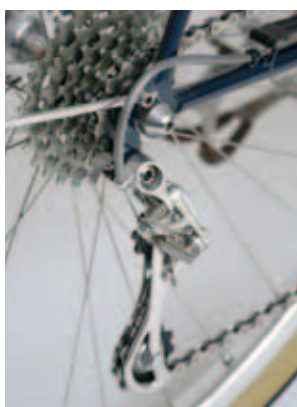
深いメタリックブルーがとてもクラッシー。

使いやすい大人のランドナー。

FRAMESET GRANDBOIS OYAKATA 550mm (C/T) /HEADSET GRANDBOIS RINKO /BB TANGE LN7922 /CHAINWHEEL ReneHERSE /HUB NORMANDY HELICOMATIC SFQR/RIM GRANDBOIS PAPILLON 650B/36H /TIRE GRANDBOIS ECUREUIL 38B/TUBE GRANDBOIS L'AILE /DERAILLEURS HURET JUBILEE+GRANDBOIS SHIFT ADAPTOR/CHAIN SHIMANO CH-HG71/FREEWHEEL NORMANDY HELICOMATIC 6S/PEDAL MKS ARVAN PLATFORM /BRAKE MAFAC RAID /BRAKE LEVER DIA-COMPE GC202Q /SADDLE IDEALE #90/ SEAT POST GRANCOMPE 27.2 /HANDLE GRANDBOIS FRENCH RANDONNEUR /STEM GRANDBOIS CRMO /BAR-TAPE GRANDBOIS LEATHER FRONT /FRONT RACK+ PANNIER FRAME GRANDBOIS SP MAISON /HEAD LIGHT SANYO LED /FENDER HONJO H50CN



GRANDBOIS FULL CUSTOM



【HURET Jubilee +
グランボアシフトアダプター】

オリジナルのままでと 180 度近くまでレバーを引っ張らなければならないのがジュビリー初期型レバー。そこで、より少ないストロークで引けるようにステンレスでアダプターを製作しました。フロントトリプル、リア6速でチェーンをアウターローに入れた状態で、レバーのストロークが約 90 度に収まります。

【ヘリコマチックハブ】

1980 年代に開発されたフランス・マイヨール社のらせん状のスプラインをもつカセット式のハブです。トルクのかかりすぎたボスフリーは取り外すのが困難でしたが、ヘリコマチックハブは専用工具で簡単にカセットを取り外すことができました。同時期に開発されたシマノのカセットハブが市場に多く出回り、今となっては幻のハブです。

【グランボアオーダーメイドキャリア】

アイズバイクルの作業場でアトリ工長の伊藤が主に製作しています。このバニアキャリアは 6 年前に親方がデザインしたオリジナルバニア。フォークのアーウルに沿うように曲げられた棒と縦横の真直ぐな棒の合計 3 本でバニア枠は構成されていて、それぞれ分解することが可能です。機能的でシンプルで美しいデザインは親方が常に心掛けているポイントです。



グランボア ユーレ ジュビリー シフトアダプター
2 個セット 4,000 円 (税込 4,400 円)

グランボア フルオーダー

GRANDBOIS Randonneuse VINTAGE "Campagnolo RALLY"

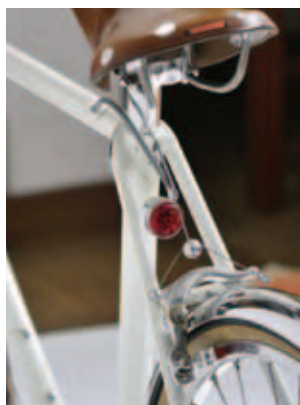
グランボア "Campagnolo Rally"

2 年前にエトワールのご注文をいただいたお客様からのご注文です。
センタートップ 515mm のフレームサイズで 700 C、ラグはコンチネンタルカット、
前後の変速機を持ち込まれての想いのこもった 2 台目となりました。

FRAMESET GRANDBOIS OYAKATA 515mm(C/T)/HEADSET GRANDBOIS VINTAGE /BB
TANGE LN7922 /CHAINWHEEL SUNXCD+TA W 48*32/PEDAL MKS ARVAN PLATFORM/
HUB GRANDBOIS LFQR /RIM GRANDBOIS PAPILLON 700C 32H /TIRE GRANDBOIS
CERFVERT 28C /TUBE GRANDBOIS LAILE /FRONT DERAILLEURS CAMPAGNOLO
CHORUS /REAR DERAILLEUR CAMPAGNOLO RALLY /CHANGE LEVERS CAMPAGNOLO
RECORD /CHAIN SHIMANO CN-HG71 /CASSETTE SHIMANO HG50 /BRAKE GRANDBOIS
CHOUETTE MODERN /BRAKE LEVER DIA-COMPE GC202Q /FENDER GRANDBOIS PJ700 /
SADDLE IDEALE #90 TIAL /SEAT POST GRANCOMPE /HANDLE GRANDBOIS PARALLEL
MAES /STEM GRANDBOIS CrMo 70mm /BAR TAPE GRANDBOIS LEATHER /FRONT RACK
GRANDBOIS SP MAISON /HEADLIGHT KIMURA BATELY /TAILLIGHT GRANDBOIS LUNE /
REFLECTOR KIMURA 32mm



GRANDBOIS FULL CUSTOM



【700C センターブル用フロントキャリア】
車体に合わせて水平を確認しながら、
一つ一つ工房内で製作しています。

【キムラ製作所バッテリーライト】
アルミ削りだしのクラシカルな外観の
バッテリー式タンケンライト。信頼性が
高く高輝度な国産 LED を使用し、集光
せず近距離を広く照らす配光になってい
ます。

【イデアル #90 チタンレール】
革サドルでありながら 300 グラム台を
実現している貴重なサドル。

【グランボアテールライト LUNE】
レンズ面をプッシュするだけでオンオフ、
点灯点滅と切り替えでき、しかも USB
充電が可能。付属のアタッチメントを使
えばいろいろ取付け場所も選べる。

【グランボアセンターブルブレーキ
シュエット 2632/3642】
グランボアの定番ブレーキ。その制動
力にほとんどの方が驚かれます。

【ラグワーク / コンチネンタルカット】
まずはラグを整え、ボトムブラケットは
パターンレスから削り出し、フレーム製
作。フレームとなった後はメッキ前の磨
き作業。メッキがかかっているのかとい
うくらいまで磨き上げなければなりません。
メッキがきれいに仕上がったら塗装
です。それから金銭引きやラグ周りの
髯、手書きロゴ。
いくつもの工程はすべて手作業です。
何人もの職人の手が入り、グランボアの
フレームは出来上がっています。

グランボア レストレーション

Alex SINGER RANDONNEUSE 1950'

1950 年代製作 アレックスサンジェ

1960 年代にロードレーサーからキャンピング仕様へと改装されたと思われるサンジェ。
ピラーとサドルが欠品して乗れなくなっていました。
それもそのはず、シートピンで固定するタイプではないサンジェのフレームには、ピラーは
オリジナルの斜白のピラーが必要でした。しかもそのサイズは 25.0mm。
ピラーとキャリアのレプリカを製作しフルレストアを行いました。



【フレームナンバー 671】

エンドに刻まれた製造ナンバーはサンジェの場合通し番号で刻まれています。

BEFORE RESTORATION



70 年以上も前に手作りされていた様々な工場のオリジナル部品を当時の様に再現する作業は、知識だけでなく時には想像力も必要です。
親方が資料として保存してあるサンジェのオリジナルパーツは、キャリアは少し長く、ピラーは径が異なりました。
今回はそれらを見本にしてフレームに合うものをアイズバイシクルの工房で製作しています。

グランボア レストレーション

Alex SINGER RANDONNEUSE 1950'

AFTER RESTORATION



【サンジェ型フロントキャリア】

見本のオリジナルよりも車体に合わせて突き出しを短くしました。



【HURET アケーブル + HURET ツールドフランス + HURET 親子レバー】

1950年代を代表するユーレの変速機へ仕様変更したところ、キャバが足りずインナーリングも 40 Tに変更することになりました。フロントメカはリジドのワイヤー引きモデル。



【サンジェ型シートピラー】

アルミの丸棒から削り出して製作します。普段はサドルに隠れて見えないところですが、キチンと細部まで拘ってレストアします。

【ミルレモ泥除け セルロイド】

ブルーメル（ミルレモ）のゴールドの泥除けをフレームカラーに合わせて選択しました。衝撃だけでなく、経年の劣化も受けやすいこの手の泥除けで、これほど綺麗な新品はとても貴重です。



グランボア セミオーダー

セミオーダーとは、フレームサイズとタイヤサイズを規定の中からお選びいただき、ご予算や使いたいシーンに合わせて仕様を決めていただくモデルです。フレームデザインが決まっている分、価格や納期がフルオーダーに比べて寛容です。フレームカラーは自由、使いたいパーツは持ち込んでいただいてもかまいません。旅するシーンに合わせてあなただけの一台を作り上げていきます。また、ホームページ見積もりサイトからお見積り・ご注文の場合、フレームと組立工賃を除いた仕様パーツ代金と同時注文のバッグなどの用品代金がすべて20%引きとなり大変お得です。



完成車見積もりサイト



セミオーダー見積もりページはショッピングのタグの中から辿っていただけます。

イージー輪行

Easy RINKO ~ 自由と輪行が標準装備 ~

イーアール 650

ER650

フレームサイズ
480/500/520/540/560/580/600/620mm
タイヤサイズ 650 × 36B/38B/42B

イーアール 700

ER700

フレームサイズ
510/530/550/570/610mm
タイヤサイズ 700 × 28C/30C



ER モデル事例ページ

グランボアのセミオーダーフレームは泥除けが前後ともとても簡単に脱着できる仕組みが標準装備されています。わずかなステップでロードバイクと同様に輪行することができ、必要に応じて更にコンパクトにできるフォーク抜き輪行も可能です。輪行方法や使用する道具は変速機の種類、フレームサイズやリアキャリアの有無などでそれぞれ異なることも多いのですが、グランボアではご希望の方には個々のお客様に合った方法をお客様の自転車を実際に使用して丁寧にレクチャーします。



輪行簡単ランドナーDIYセット

イーアール650ベーシック

ER650 Basic

イーアール700ベーシック

ER700 Basic



ERフレーム&フォーク+以下付属

ヘッド小物+リアアウター受け
ER加工済み泥除け+小物一式
ERフロントキャリア
センタープルブレーキ シュエット
お好きな色に塗装
(メタリックは税込 5,500 円アップ)

ERベーシックセット

¥ 270,000

(税込 ¥ 297,000)

2023 年よりすべてセンタープル仕様となりました！

グランボア セミオーダー作例

ER700

丸石エンペラーをご愛用頂いていたお客様からのご注文です。ロングツーリングを楽しむためにリアキャリアをカスタムメイドした特別な一台です。「このように自転車の乗り心地が違うとは思っていませんでした。」と喜んでいただけました。



Frame GrandBois ER700 530mm/Color Mid night blue/Headset TANGE RB661C/BB SHIMANO UN300/Chainwheel SUGINO XD2 170mm 48x38x28/Hub GrandBois LFQR/Rim GrandBois SCARABEE 700C/Tire GrandBois 30C/Front Derailleur Microshift/Rear Derailleur SHIMANO/Shift lever SHIMANO/Pedal MKS/Brake Mr. Control GrandBois SP/Brake Lever DIA-compe 204QC/Fender GrandBois PJ700/Saddle BROOKS B17/Handlebar GrandBois FM410/Stem GrandBois Aluminum 70mm/Front rack NITTO M12/Rear rack GrandBois custom made/Reflector KIMURA 35mm

ER650

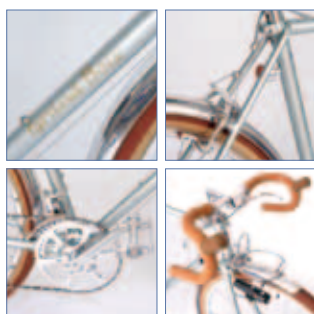
普段は小径車をご愛用のフィリピンのお客様からのご注文です。コロナで来日できない間にメールのやり取りを重ね製作しました。東南アジアへの完成車の初輸出となる一台で、セミオーダーながらフレームは親方が製作しました。



Frame GrandBois ER650 480mm modified/Color Champagne gold + Brown line and logo/Headset GrandBois Vintage/BB TANGE/Chainwheel SUNxcd/Hub front SON dynamo/Hub rear GrandBois LFQR/Rim GrandBois Papillon 650B/Tire GrandBois 42B/Derailleur Microshift/Shift lever SHIMANO/Pedal MKS Sylvintouring/Brake MR.Control GrandBois SP/Brake Lever DIA-compe 139+138/Fender HONJO H50CN/Saddle IDEALE/Seat post DiaCompe ENE/Handlebar GrandBois FR410/Stem GrandBois Aluminum 50mm/Front Rack GrandBois Easy RINKO/Rear Rack NITTO Campee/Front bag RSA SUN BAGS/Head Light B&M IQ-XS/Battery light KIMURA LH-11D/Tail Light GrandBois LUNE/Reflector KIMURA 38mm/Bar-tapes GrandBois Leather/Bottle cage Nitto/Pump AFA 17"

ER650

女性の漆器職人さんから、こだわりのツーリング車としてグランボアのランドナーをお選びいただきました。女性に優しいギドネットレバーとネオクラシカルなパーツ構成ですっきりした仕上がりです。



Frame GrandBois ER650 520mm modified/Color Old Celeste Metallic/Headset GrandBois RINKO/BB TANGE/Chainwheel SUNxcd/Hub GrandBois LFQR/Rim GrandBois Papillon/Tire GrandBois 42B/Front derailleur Microshift/Rear derailleur SHIMANO/Shift lever SHIMANO/Pedal MKS Sylvintouring/Brake GrandBois Chouette 3642/Brake Lever DIA-compe 139+138/Fender HONJO H50N/Saddle IDEALE/Handlebar GrandBois FR410/Stem GrandBois Aluminum 70mm/Front Rack GrandBois Easy RINKO/Light CATEYE Vol400/Tail Light GrandBois LUNE/Reflector KIMURA 38mm/Bar-tapes GrandBois Leather/Front Bag BERTHOUD Cycles



親方、専務で行く、
2022年2月のツーリングは天草。
JR フルムーンパスと船と橋を駆使した3泊4日の輪行ツーリング。
想像を超える鶴の大群、歴史に想いを馳せる秘境の教会、
対岸にはいつもどこかに雲仙普賢岳。
あなたの自転車旅のヒントを見つけてください。



サイクルグランボア株式会社

直営店 アイズバイシクル

〒616-8005 京都市右京区龍安寺塔の下町1-8

Tel: 075-461-0835 Fax: 075-461-0836



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム



マップ

